

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
113	都市間交流事業	会計	01	一般会計		
基本施策	54	地域資源を活かして他地域と交流する	款	02	総務費	
			項	01	総務管理費	
			目	07	文化振興費	
担当部課名	企画振興部 文化国際課		細目	103	都市間交流推進事業費	
作成者氏名	松本博臣	連絡先	22-9624	細々目	01	都市間交流推進事業費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	伊賀市及び交流市町村の市民	芭蕉翁の顕彰、俳句の普及とともに伊賀市の地名度が上昇する。		
本年度事業内容	芭蕉翁の生誕地が伊賀市との認識を持つ人がすくない。全国に向けて情報発信を行うことにより市民とともに芭蕉翁の顕彰、俳句の普及に努める。 ・大津市との江州音頭による市民の交流 ・奥の細道サミット(奥の細道ゆかりの市町村との交流)			
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,035	1,317	1,817
負担金	1,035	1,317	1,817
その他			
合計(A+B)	2,475	2,757	3,257
財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他特財	0	0	0
一般財源	2,475	2,757	3,257
上記 ~ に関する特記事項	19年度夏まつり2007フェスタ市民盆踊り大会500千円増		

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
びわ湖大津夏まつり	人	50	50	50			
交流市町村	市町村						

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
献詠俳句投句数	投句数の増が俳句の浸透を表す指標となる。	句	15834 目標 (15000)	16400	17100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

都市間交流としての行政での情報発信に加え、民間レベルでの交流を促進していくことが必要である

評価	必要性	4	芭蕉翁ゆかりの地として交流を通して芭蕉の生誕地の知名度をアップする	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		